

# 「ノーベル化学賞2020」 CRISPR-Cas9

今年のノーベル化学賞は、ゲノム編集の新たな手法を開発した、エマニュエル・シャルパンティエ教授とジェニファー・ダウドナ教授とに授与されました。

この技術は「CRISPR-Cas9」と呼ばれ、従来よりも簡単で効率のよいゲノム編集を可能にしました。作物の品種改良や、がんの新しい治療法の開発、新型コロナウイルスの研究で活用されています。

The Nobel Prize in Chemistry 2020 was awarded jointly to Emmanuelle Charpentier and Jennifer A. Doudna for the development of a new method for genome editing, CRISPR-Cas9. This method contributes to breeding, new cancer therapies and research on COVID-19.



## 【農学分館で所蔵している関連書】

- 『ゲノム編集入門：ZFN・TALEN・CRISPR-Cas9 / 山本卓編』（467.25/50）
- 『ゲノム編集の基本原理と応用：ZFN, TALEN, CRISPR-Cas9 / 山本卓著』（467.25/82）
- 『ゲノム編集実験スタンダード：完全版：CRISPR-Cas9の設計・作製と各生物種でのプロトコルを徹底解説 / 山本卓, 佐久間哲史編集』（467.25/80）
- 『今すぐ始めるゲノム編集：TALEN & CRISPR/Cas9の必須知識と実験プロトコル / 山本卓編』（467.3/74）
- 『ゲノム編集成功の秘訣Q&A：論文だけではわからない：TALEN、CRISPR/Cas9の極意 / 山本卓編』（467.3/97）